# 静岡県における結果の概要

### 1 出生数は減少

出生数は26,261人で、前年の27,652人より1,391人減少し、出生率(人口千対)は7.3で、前年の7.6を下回った。

また、合計特殊出生率は1.52で前年の1.55を上回った。

### 2 死亡数は減少

死亡数は41,078人で、前年の39,294人より1,784人増加し、死亡率(人口千対)は11.4で、前年の10.8を上回った。

死因順位は、第1位が悪性新生物<腫瘍>(死亡数10,624人、死亡率(人口10万対) 294.7)、第2位が心疾患(5,982人、165.9)、第3位が老衰(4,571人、126.8)となっている。

### 3 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は $\triangle$ 14,817人で、前年より減少幅が3,175人広がり、自然増加率(人口千対)は $\triangle$ 4.1で、前年の $\triangle$ 3.2を下回った。

## 4 乳児死亡数、新生児死亡数は減少

乳児死亡数は47人で、前年より1人増加し、乳児死亡率(出生千対)は1.8で、前年の1.7 を上回った。

また、新生児死亡数は13人で、前年より10人減少し、新生児死亡率(出生千対)は0.5で、前年の0.8を下回った。

### 5 死産数は減少

死産数は477胎で、前年より61胎減少し、死産率(出産(出生+死産)千対)では17.8で、 前年の19.1を下回った。

### 6 婚姻件数は減少

婚姻件数は16,573組で、前年より5067組減少し、婚姻率(人口千対)は4.6で、前年の4.7を下回った。

### 7 離婚件数は減少

離婚件数は5,983組で、前年より254組減少し、離婚率(人口千対)は1.66で、前年の1.72 を下回った。

表1人口動態総覧

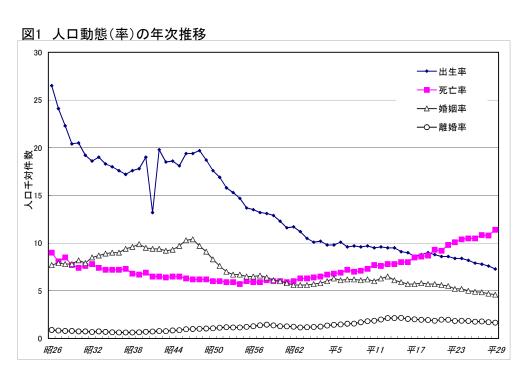
				静	岡県				全国	<u> </u>	
	実	数	ዻ	<u> </u>	全 国	順位	平均発生間隔 (365日想定)	実	数	<b>4</b>	<u> </u>
	29年 (確定値)	28年 (確定値)	29年 (確定値)	28年 (確定値)	29年	28年	29年	29年 (確定値)	28年 (確定値)	29年 (確定値)	28年 (確定値)
出 生	26,261	27,652	7.3	7.6	23	22	20分1秒	946,065	976,978	7.6	7.8
男	13,474	14,231	7.6	8.0			39分1秒	484,449	501,880	8.0	8.2
女	12,787	13,421	7.0	7.3	•••		41分6秒	461,616	475,098	7.2	7.4
死 亡	41,078	39,294	11.4	10.8	30	33	12分48秒	1,340,397	1,307,748	10.8	10.5
男	21,193	20,359	11.9	11.4			24分48秒	690,683	674,733	11.4	11.1
女	19,885	18,935	10.9	10.3			26分26秒	649,714	633,015	10.2	9.9
乳児死亡	47	46	1.8	1.7	29	40	186時間22分59秒	1,761	1,928	1.9	2.0
新生児死亡	13	23	0.5	0.8	45	30	673時間50分46秒	832	874	0.9	0.9
自然増加	△ 14,817	△ 11,642	$\triangle$ 4.1	$\triangle$ 3.2	16	16	•••••	△ 394,332	△ 330,770	△ 3.2	$\triangle$ 2.6
死産	477	538	17.8	19.1	45	41	18時間21分53秒	20,358	20,934	21.1	21.0
自然死産	243	288	9.1	10.2	38	21	36時間2分58秒	9,738	10,067	10.1	10.1
人工死産	234	250	8.8	8.9	42	43	37時間26分9秒	10,620	10,867	11.0	10.9
周産期死亡	85	115	3.2	4.1	33	9	103時間3分32秒	3,308	3,516	3.5	3.6
妊娠満22週 以後の死産	76	99	2.9	3.6			115時間15分47秒	2,638	2,840	2.8	2.9
早期新生児 死 亡	9	16	0.3	0.6			229時間20分0秒	625	676	0.7	0.7
婚    姻	16,573	17,079	4.6	4.7	15	16	1時間27分51秒	606,866	620,531	4.9	5.0
離婚	5,983	6,237	1.66	1.72	22	15	1時間20分49秒	212,262	216,798	1.70	1.73
合計特殊出生率			1.52	1.55	24	19				1.43	1.44

- (注) 1 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児 死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対、周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は 出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。
  - 2 全国順位は、率の高い方から数えた順位である。
  - 3 諸率の算出に用いた人口は、総務省統計局の平成29年10月1日現在の日本人人口

(静岡県… 3,605,000 人、 全国… 124,648,471 人)

表2 人口動態(実数・率)の年次推移

	出	生	死	亡	乳児	死亡	新生児	見死亡	死	産	婚	姻	離	婚
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和40年	55,328	19.0	19,966	6.9	866	15.7	482	8.7	4,431	74.1	27,788	9.5	2,064	0.71
50	58,276	17.6	19,788	6.0	542	9.3	349	6.0	2,709	44.4	27,541	8.3	3,536	1.07
60	43,932	12.3	21,415	6.0	236	5.4	143	3.3	1,819	39.8	21,501	6.0	4,572	1.28
2	37,045	10.1	23,543	6.4	157	4.2	86	2.3	1,464	38.0	20,700	5.7	4,432	1.21
3	37,385	10.2	23,850	6.5	175	4.7	103	2.8	1,334	34.5	21,356	5.8	4,571	1.25
4	35,973	9.8	24,619	6.7	164	4.6	80	2.2	1,321	35.4	22,000	6.0	5,017	1.36
5	36,098	9.8	25,089	6.8	153	4.2	73	2.0	1,191	31.9	23,144	6.3	5,292	1.44
6	37,462	10.1	25,503	6.9	151	4.0	86	2.3	1,196	30.9	22,724	6.1	5,426	1.47
7	35,345	9.6	26,666	7.2	164	4.6	75	2.1	1,086	29.8	22,991	6.2	5,723	1.55
8	36,081	9.7	26,089	7.0	118	3.3	60	1.7	1,074	28.9	23,117	6.2	5,795	1.56
9	35,606	9.6	26,343	7.1	116	3.3	65	1.8	1,026	28.0	22,513	6.1	6,298	1.70
10	35,921	9.7	27,178	7.3	107	3.0	57	1.6	1,017	27.5	23,134	6.2	6,780	1.82
11	35,395	9.5	28,753	7.7	111	3.1	62	1.8	1,080	29.6	22,429	6.0	6,976	1.87
12	35,794	9.6	28,323	7.6	96	2.7	52	1.5	1,088	29.5	23,550	6.3	7,380	1.99
13	35,193	9.5	28,914	7.8	86	2.4	42	1.2	1,044	28.8	24,019	6.5	7,967	2.14
14	35,212	9.5	28,894	7.8	94	2.7	57	1.6	1,067	29.4	22,635	6.1	7,985	2.14
15	34,061	9.1	29,813	8.0	109	3.2	68	2.0	1,038	29.6	21,817	5.9	8,087	2.17
16	33,628	9.0	29,809	8.0	83	2.5	46	1.4	960	27.8	21,304	5.7	7,688	2.06
17	31,908	8.6	31,747	8.5	99	3.1	56	1.8	816	24.9	21,056	5.7	7,474	2.01
18	32,905	8.8	32,001	8.6	87	2.6	43	1.3	840	24.9	21,663	5.8	7,281	1.96
19	33,274	9.0	32,507	8.7	81	2.4	48	1.4	750	22.0	21,150	5.7	7,208	1.94
20	32,701	8.8	34,511	9.3	80	2.4	46	1.4	789	23.6	21,193	5.7	6,959	1.87
21	31,901	8.6	34,209	9.2	65	2.0	30	0.9	731	22.4	20,716	5.6	7,352	1.98
22	31,896	8.6	36,420	9.8	68	2.1	34	1.1	716	22.0	20,323	5.5	7,241	1.96
23	31,172	8.4	37,303	10.1	70	2.2	30	1.0	719	22.5	19,093	5.2	6,804	1.84
24	30,810	8.4	38,194	10.4	58	1.9	28	0.9	647	20.6	19,323	5.2	6,878	1.87
25	30,260	8.2	38,393	10.5	64	2.1	32	1.1	646	20.9	18,463	5.0	6,732	1.84
26	28,684	7.9	38,342	10.5	61	2.1	29	1.0	629	21.5	18,066	4.9	6,439	1.76
27	28,352	7.8	39,518	10.9	53	1.9	25	0.9	539	18.7	17,666	4.9	6,504	1.79
28	27,652	7.6	39,294	10.8	46	1.7	23	0.8	538	19.1	17,079	4.7	6,237	1.72
29	26,261	7.3	41,078	11.4	47	1.8	13	0.5	477	17.8	16,573	4.6	5,983	1.66



## 1 出 生

### (1) 出生数·出生率

### 平成29年の出生数は26,261人で、前年の27,652人より1,391人減少した。

昭和46~49年の第2次ベビーブーム期には、毎年6万人を超える出生があったが、昭和50年 以降はほぼ毎年減少を続け、昭和55年に5万人を、平成元年に4万人を、平成15年は3万5千 人を下回った。

出生数を母の年齢(5歳階級)別にみると、30~34歳が最も多く、次いで25~29歳、35~39歳の順となっている。いずれの年齢階級で出生数は前年より減少した。35歳以上の母親からの出生は全体の26.5%である。

出生率(人口千対)は7.3で、前年の7.6を下回った。

表3 母の年齢(5歳階級)別にみた出生数の年次推移

		出生	<b>上数</b>		対前年	F増 減	割	合
	平成29年	平成28年	平成27年	19年	29年-28年	28年-27年	29年	19年
総数	26,261	27,652	28,352	33,274	△ 1,391	△ 700	100.0	100.0
~19歳	273	282	319	507	△ 9	△ 37	1.0	1.5
20~24	2,223	2,324	2,451	3,947	△ 101	△ 127	8.5	11.9
25~29	7,143	7,574	8,033	10,366	△ 431	△ 459	27.2	31.2
30~34	9,663	10,200	10,271	12,465	△ 537	△ 71	36.8	37.5
35~39	5,611	5,859	5,936	5,297	△ 248	△ 77	21.4	15.9
40歳以上	1,348	1,413	1,342	692	△ 65	71	5.1	2.1

<sup>(</sup>注) 総数には母の年齢不詳を含む。

### (2) 合計特殊出生率

### 平成29年の合計特殊出生率は1.52で、前年の1.55を下回った。

合計特殊出生率は、昭和55年に2.00、平成7年に1.50を下回り、低下傾向が続いていたが、平成15年以降は総じて上昇傾向となり、現在は横ばいの値をとっている。

### 表4 合計特殊出生率の年次推移

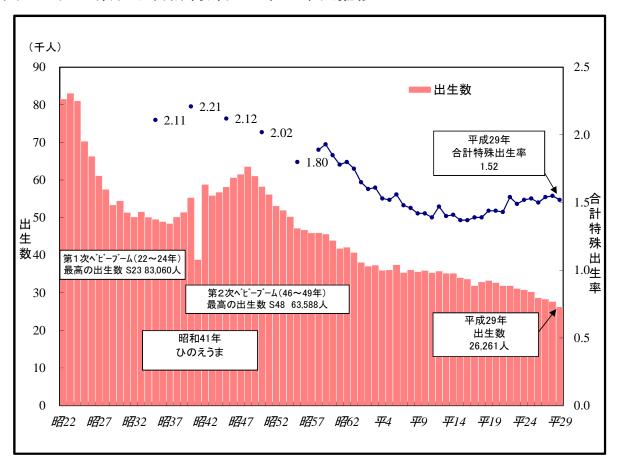
	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年
静岡県	2.11	2.21	2.12	2.02	1.80	1.85	1.60	1.48	1.47	1.39
全 国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26

22年	23年※	24年※	25年※	26年※	27年	28年	29年
1.54	1.49	1.52	1.53	1.50	1.54	1.55	1.52
1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43

#### <参考>

平成26年までの非国勢調査年の都道府県別の合計特殊出生率は、外国人を含む年齢別の女性人口を分母として算出しているため、日本人のみを分母とする年齢別の女性人口を分母とする国勢調査年の値に比べて低い値となる傾向がある。

# 図2 出生数及び合計特殊出生率の年次推移



# 2 死 亡

## (1) 死亡数・死亡率

## 平成29年の死亡数は41,078人で、前年の39,294人より1,784人増加した。

死亡数は、昭和30年代以降は2万人前後で推移していたが、昭和50年代の終わりごろから徐々に増加し、平成17年は3万人を、平成29年には4万人を超えた。

## 平成29年の死亡率(人口千対)は11.4で、前年の10.8を上回った。

昭和22年に13.0であった死亡率は、その後次第に低下し、昭和54年には戦後最低の5.7となった。その後は、昭和60年代からほぼ一貫して上昇を続け、平成15年に8.0を、平成20年には9.0を超え、平成23年には10.0を、平成29年には11.0を超えた。

表5 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

	静	司 県	全	国
	死 亡 数	死 亡 率	死 亡 数	死 亡 率
昭和30年	19,741	7.4	693,523	7.8
35	19,935	7.2	706,599	7.6
40	19,966	6.9	700,438	7.1
45	20,302	6.5	712,962	6.9
50	19,788	6.0	702,275	6.3
55	20,550	6.0	722,801	6.2
60	21,415	6.0	752,283	6.3
平成 2	23,543	6.4	820,305	6.7
7	26,666	7.2	922,139	7.4
12	28,323	7.6	961,653	7.7
13	28,914	7.8	970,313	7.7
14	28,894	7.8	982,379	7.8
15	29,813	8.0	1,014,951	8.0
16	29,809	8.0	1,028,602	8.2
17	31,747	8.5	1,083,796	8.6
18	32,001	8.6	1,084,450	8.6
19	32,507	8.7	1,108,280	8.8
20	34,511	9.3	1,142,407	9.1
21	34,209	9.2	1,141,865	9.1
22	36,420	9.8	1,197,012	9.5
23	37,303	10.1	1,253,066	9.9
24	38,194	10.4	1,256,359	10.0
25	38,393	10.5	1,268,436	10.1
26	38,342	10.5	1,273,004	10.1
27	39,518	10.9	1,290,444	10.3
28	39,294	10.8	1,307,748	10.5
29	41,078	11.4	1,340,397	10.8

表6 年齢(5歳階級)別にみた、死亡数・死亡率(人口10万対)

	死	亡	数	死	亡	率
	平成29年	平成28年	対前年増減	平成29年	平成28年	対前年増減
総数	41,078	39,294	1,784	1,139.5	1,084.6	54.9
0~4歳	66	77	△ 11	47.8	54.2	$\triangle$ 6.4
5~9	12	17	$\triangle$ 5	7.7	10.8	△ 3.1
10~14	16	8	8	9.8	4.8	5.0
15~19	43	32	11	24.9	18.7	6.2
20~24	58	62	$\triangle$ 4	43.0	45.3	$\triangle 2.3$
25~29	53	79	△ 26	33.1	47.3	$\triangle$ 14.2
30~34	85	105	△ 20	44.7	54.1	$\triangle$ 9.4
35~39	128	134	△ 6	60.1	60.9	△ 0.8
40~44	230	263	△ 33	88.1	97.8	△ 9.7
45~49	401	380	21	151.3	145.6	5.7
50~54	535	521	14	232.6	233.6	△ 1.0
55~59	792	763	29	356.8	342.2	14.6
60~64	1,306	1,399	△ 93	558.1	571.0	△ 12.9
65~69	2,668	2,664	4	886.4	862.1	24.3
70~74	3,268	3,299	△ 31	1,396.6	1,459.7	△ 63.1
75 <b>~</b> 79	4,764	4,653	111	2,323.9	2,338.2	△ 14.3
80~84	6,904	6,770	134	4,369.6	4,367.7	1.9
85歳以上	19,749	18,068	1,681	11,825.7	11,292.5	533.2

<sup>(</sup>注) 総数には年齢不詳を含む。

## (2) 死 因

平成29年の死亡数を死因別にみると、第1位は悪性新生物で10,624人、死亡率(人口10万対)294.7、第2位は心疾患で5,982人、死亡率165.9、第3位は老衰で4,571人、死亡率126.8となった。

全死亡者に占める割合は、それぞれ25.9%、14.6%、11.1%であり死亡のおよそ3.9人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

表7 主な死因別死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位

				静	¥	武			県				全		玉	
	死 因			平	成29年			平	成28年			平成29年	F		平成28年	
	<i>9</i> L Д		死	<b>三亡数</b>	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割 合(%)	歹	E亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割 合(%)		死亡数	死亡率 <sup>(人口10万対)</sup>		死亡数	死亡率 <sup>(人口10万対)</sup>
全	死	因		41,078	1,139.5	100.0		39,294	1,084.6	100.0		1,340,397	1,075.3		1,307,748	1046.0
悪<	性新生腫瘍	物 >	(1)	10,624	294.7	25.9	(1)	10,721	295.9	27.3	(1)	373,334	299.5	(1)	372,986	298.3
心	疾	患	(2)	5,982	165.9	14.6	(2)	5,420	149.6	13.8	(2)	204,837	164.3	(2)	198,006	158.4
老		衰	(3)	4,571	126.8	11.1	(3)	4,057	112.0	10.3	(4)	101,396	81.3	(5)	92,806	74.2
脳	血管疾	患	(4)	3,760	104.3	9.2	(4)	3,619	99.9	9.2	(3)	109,880	88.2	(4)	109,320	87.4
肺		炎	(5)	2,545	70.6	6.2	(5)	2,937	81.1	7.5	(5)	96,841	77.7	(3)	119,300	95.4
不	慮の事	故	(6)	1,279	35.5	3.1	(6)	1,123	31.0	2.9	(6)	40,329	32.4	(6)	38,306	30.6
誤	嚥 性 肺	炎	(7)	1,204	33.4	2.9	-	1,227	33.9	3.1	(7)	35,788	28.7	-	38,650	30.9
腎	不	全	(8)	833	23.1	2.0	(7)	775	21.4	2.0	(9)	25,134	20.2	(7)	24,612	19.7
細	管性及び 不明の認		(9)	672	18.6	1.6	(12)	443	12.2	1.1	(10)	19,546	15.7	(14)	11,894	9.5
大及	動 脈 が 解	瘤離	(10)	588	16.3	1.4	(8)	603	16.6	1.5	(11)	19,126	15.3	(9)	18,145	14.5
自		殺	(10)	588	16.3	1.4	(9)	602	16.6	1.5	(9)	20,465	16.4	(8)	21,017	16.8

<sup>(</sup>注) 死亡数欄の()内の数字は死因順位を示す。「誤嚥性肺炎」は平成29年から追加された。

# 表8 性別にみた死因順位別、死亡数・死亡率(人口10万対)

(平成29年)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第4位	第 5 位
	死 因	悪性新生物<腫瘍>	心疾患	脳血管疾患	肺 炎	老 衰
男	死亡数	6,412	2,849	1,828	1,447	1,293
	死亡率	361.0	160.4	102.9	81.5	72.8
	死 因	悪性新生物<腫瘍>	老衰	心疾患	脳血管疾患	肺 炎
女	死亡数	4,212	3,278	3,133	1,932	1,098
	死亡率	230.4	179.3	171.4	105.7	60.1

		第 6 位	第 7 位	第 8 位	第9位	第 10 位
	死 因	誤嚥性肺炎	不慮の事故	慢性閉塞性肺疾患	腎不全	自殺
男	死亡数	738	713	448	439	437
	死亡率	41.6	40.1	25.2	24.7	24.6
	死 因	不慮の事故	誤嚥性肺炎	血管性及び 詳細不明の認知症	腎不全	大動脈瘤及び解離
女	死亡数	556	466	443	394	297
	死亡率	30.4	25.5	24.2	21.6	16.2

<sup>(</sup>注) 死亡率は人口10万対

死亡率の年次推移をみると、悪性新生物は、ほぼ一貫して上昇傾向にあり、昭和57年以降死 因順位の第1位となっている。

本県の3大死因の死亡率の全国順位は、高い方から数えて悪性新生物が39位、心疾患が40位 老衰が5位となっている。

# 350 悪性新生物 --脳血管疾患 300 **──** 心疾患 **∞** 肺炎 - 不慮の事故 老衰 250 200 150 100 50 0 昭26 昭32 **∓**5 平11 平17 **平23 平29** 昭38 昭44 昭50 昭56 昭62

## 図2 主な死因別の死亡率の年次推移

(注) 「肺炎」は平成6年まで「肺炎及び気管支炎」である。

悪性新生物について死亡数を部位別にみると、男は「肺」が1,492人で最も多く、以下「胃」が826人、「大腸」が804人、「膵」が541人「肝」が538人、の順である。

女は「大腸」が657人で最も多く、以下「肺」が596人、「膵」が468人、「乳房」が392人、 「胃」が386人の順となっている。順位は、前年と変わっていない。

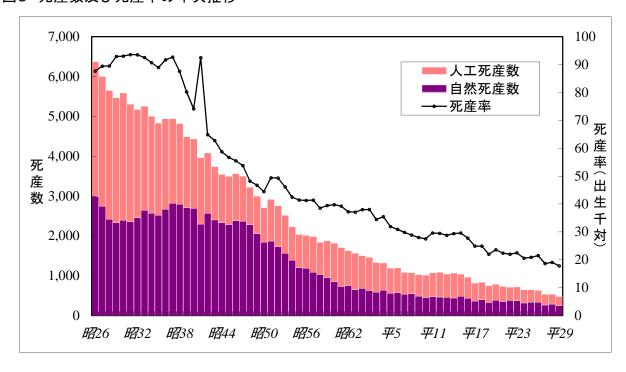
(注) 大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。

# 3 死産

平成29年の死産(妊娠満12週以後の死児の出産)数は477胎で、前年の538胎より61胎減少し、 死産率(出産(出産+死産)千対)は17.8で前年の19.1を下回った。

死産率の年度推移をみると、昭和37年までは概ね90前後で推移していたが、昭和38年からは昭和41年のひのえうまの影響を除き、急激に低下し、50年には44.4となった。その後は、おおむね低下傾向となっている。

# 図3 死産数及び死産率の年次推移



## 4 婚姻・離婚

## (1)婚姻

平成29年の婚姻件数は16,573組で、前年の17,079組より506組減少し、婚姻率 (人口千対) は4.6で、前年の4.7を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には、婚姻件数は3万組を超え、婚姻率も10.0前後を記録した。 その後は、件数・率とも減少が続いたが、昭和63年以降は増加に転じ平成4年以降平成14年 まで婚姻率は6.0以上であったが、平成15年以降6.0を下回っている。

平均初婚年齢は、夫31.1歳、妻29.1歳で、妻のみ前年より下降した。

表9 婚姻の年次推移

		婚 姻								
	静同	引 県	全	国						
	件 数	率	件 数	率						
昭和45年	30,036	9.7	1,029,405	10.0						
50	27,541	8.3	941,628	8.5						
55	22,460	6.5	774,702	6.7						
60	21,501	6.0	735,850	6.1						
平成2年	20,700	5.7	722,138	5.9						
7	22,991	6.2	791,888	6.4						
12	23,550	6.3	798,138	6.4						
17	21,056	5.7	714,265	5.7						
18	21,663	5.8	730,971	5.8						
19	21,150	5.7	719,822	5.7						
20	21,193	5.7	726,106	5.8						
21	20,716	5.6	707,734	5.6						
22	20,323	5.5	700,214	5.5						
23	19,093	5.2	661,899	5.2						
24	19,323	5.2	668,869	5.3						
25	18,463	5.0	660,613	5.3						
26	18,066	4.9	643,749	5.1						
27	17,666	4.9	635,156	5.1						
28	17,079	4.7	620,531	5.0						
29	16,573	4.6	606,866	4.9						

<sup>(</sup>注) 婚姻率は人口千対

表10 平均初婚年齢の年次推移

	主	争 岡 県			全 国	
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
昭和45年	26.8	23.9	2.9	26.9	24.2	2.7
50	26.9	24.4	2.5	27.0	24.7	2.3
55	27.8	25.0	2.8	27.8	25.2	2.6
60	28.2	25.3	2.9	28.2	25.5	2.7
平成2年	28.4	25.7	2.7	28.4	25.9	2.5
7	28.6	26.2	2.4	28.5	26.3	2.2
12	28.7	26.8	1.9	28.8	27.0	1.8
17	29.8	27.8	2.0	29.8	28.0	1.8
18	29.9	27.9	2.0	30.0	28.2	1.8
19	30.0	28.1	1.9	30.1	28.3	1.8
20	30.0	28.1	1.9	30.2	28.5	1.7
21	30.2	28.2	2.0	30.4	28.6	1.8
22	30.4	28.5	1.9	30.5	28.8	1.7
23	30.5	28.6	1.9	30.7	29.0	1.7
24	30.7	28.8	1.9	30.8	29.2	1.6
25	30.8	29.0	1.8	30.9	29.3	1.6
26	31.0	29.1	1.9	31.1	29.4	1.7
27	31.0	29.2	1.8	31.1	29.4	1.7
28	31.1	29.2	1.9	31.1	29.4	1.7
29	31.1	29.1	2.0	31.1	29.4	1.7

<sup>(</sup>注) 各届出年に結婚生活に入ったもの

# (2)離婚

平成29年の離婚件数は5,983組で、前年の6,237組より253組減少し、離婚率(人口千対)は 1.66で、前年の1.72を下回った。

離婚件数は、昭和37年以降毎年増加したが、昭和58年の5,075組をピークに減少した後、 平成元年以降は再度増加を続け、平成15年に8千組を超えた。平成16年以降、減少傾向が 続いている。

表11 離婚の年次推移

離婚				
	静岡県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	2,701	0.87	95,937	0.93
50	3,536	1.07	119,135	1.07
55	4,202	1.22	141,689	1.22
60	4,572	1.28	166,640	1.39
平成2年	4,432	1.21	157,608	1.28
7	5,723	1.55	199,016	1.60
12	7,380	1.99	264,246	2.10
17	7,474	2.01	261,917	2.08
18	7,281	1.96	257,475	2.04
19	7,208	1.94	254,832	2.02
20	6,959	1.87	251,136	1.99
21	7,352	1.98	253,353	2.01
22	7,241	1.96	251,378	1.99
23	6,805	1.84	235,734	1.87
24	6,878	1.87	235,406	1.87
25	6,732	1.84	231,383	1.84
26	6,439	1.76	222,107	1.77
27	6,504	1.79	226,215	1.81
28	6,237	1.72	216,798	1.73
29	5,983	1.66	212,262	1.70

(注) 離婚率は人口千対